

マンガで学ぶ

衛生

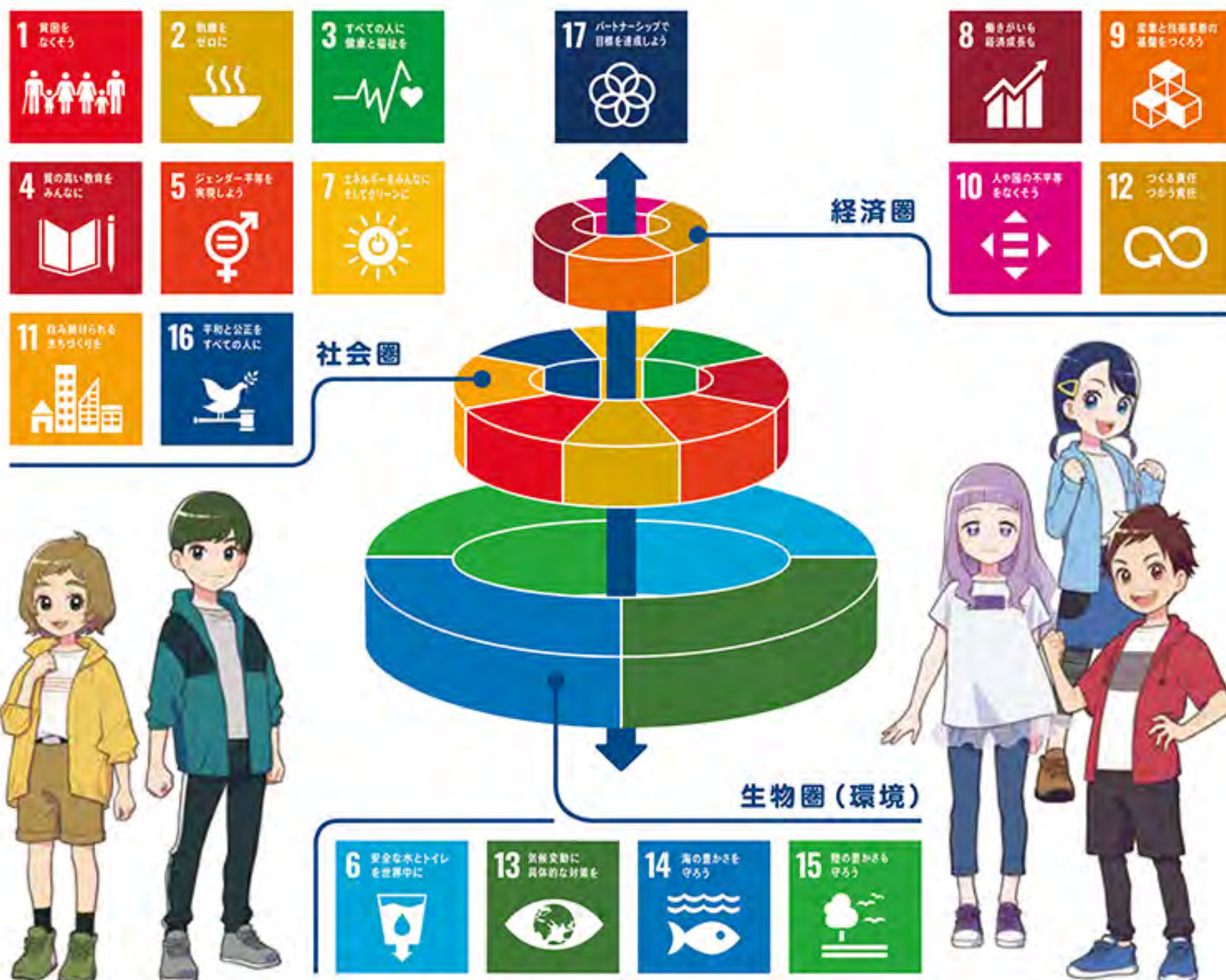
資源

気候変動

多様性

SDGs

かんきょう
自然環境が危ない!



4-1	4話	生物多様性を保全しよう	82
		リレーでつながる生き物の命!	74
	4章	陸の豊かさを守ろう	73
		日本の食料自給率の変化	72
		データで比較する過去と未来	70
3-4		海と共存するための生活習慣	68
3-3		海洋プラスチックゴミ問題	66
3-2		限りある水産資源を大切に	64
3-1		水質汚染をストップ!	56
3話		魚が食べられない未来、到来!?	55
	3章	海の豊かさを守ろう	55
		東京の平均気温の変化	36
		データで比較する過去と未来	34
1-4		くらし方を考える	32
1-3		環境にやさしいエネルギー利用	30
1-2		気候変動による災害に備える	28
1-1		ストップ! 地球温暖化	20
1話		ハイキングで温暖化対策!?	19
	1章	気候変動に具体的な対策を	19
		SDGsとは?	18
		SDGsの17の目標	16
		SDGsの目標のつながり	14
		ウェディングケーキモデル	12
		登場人物の紹介	2
		プロローグ	2

- 本書のマンガで登場する人物や団体、建物などは架空のもので、実在するものとは関係ありません。
- 本書で紹介する各種データや事例は、2020年12月時点での最新の情報に基づいて掲載しています。また、情報をよりわかりやすくするために編集しているものもあります。
- 本書に記載された内容は、情報の提供のみを目的としています。

国際連合 SDGsのウェブサイト

〈英語〉

<https://www.un.org/sustainabledevelopment/>

〈日本語〉

https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

※この出版物の内容は国連に承認されたものではなく、また、国連およびその公式団体や加盟各国の見解を反映したものではありません。

エ	4-4	森林や土地の劣化を防ごう	90
ピ	4-3	動物を絶滅の危機から守ろう	88
ロ	4-2	食料問題にかかわる耕作地	86
ー			84
グ			82

「UN17	2話	地球をお風呂にたとえると?	54
ビ		日常生活に必要な水	52
レ	2-4	世界の水資源と栄養問題	50
ッ	2-3	管理された衛生施設の整備	48
ジ	2-2	自然の回復を目指す	46
ン	2-1	SDGs達成率上位の国から学ぶ事例	38
プロジェクトで			
エコなまちに			

2章 安全な水とトイレを世界中に

37



夏休みのある日
リンクとタマキは
サマーキャンプ
「Summer Days」
に参加していた

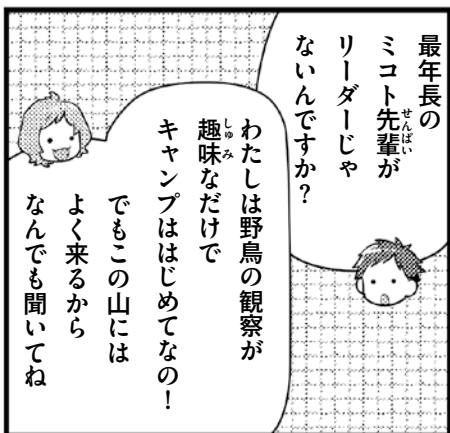
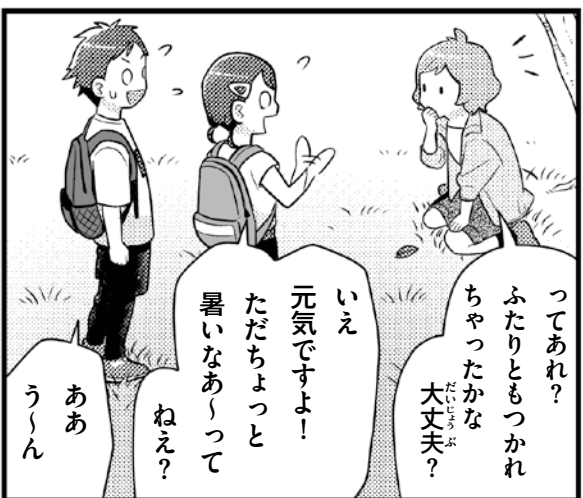
森のキャンプ場を
拠点にして
グループごとに
ハイキング、野外炊飯、
テント宿泊を行う
1泊2日の
プログラムである

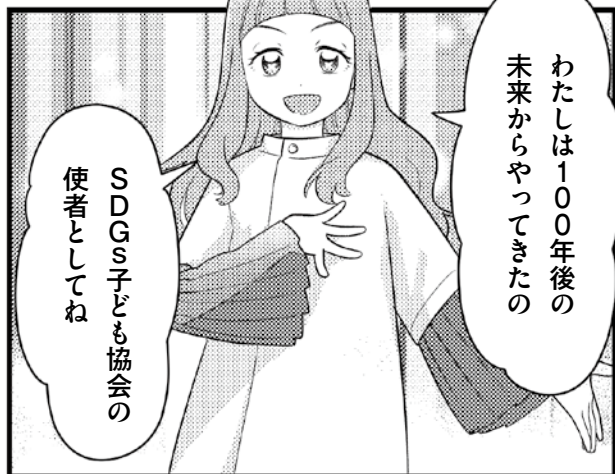
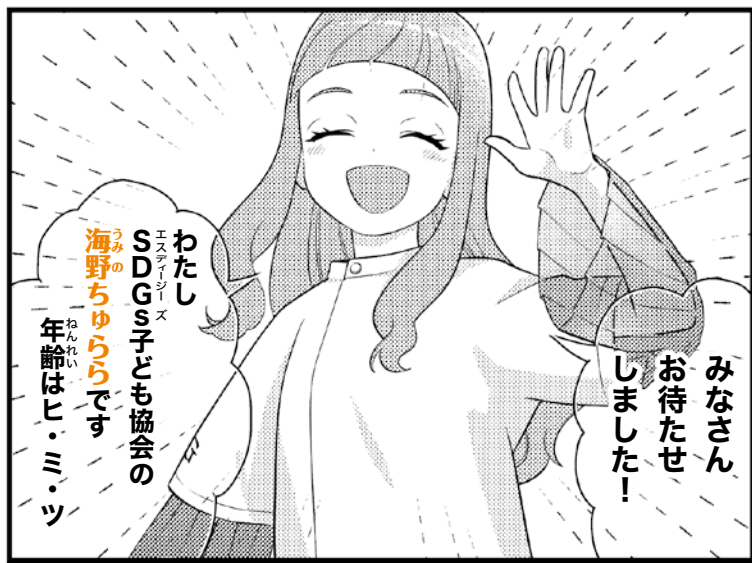
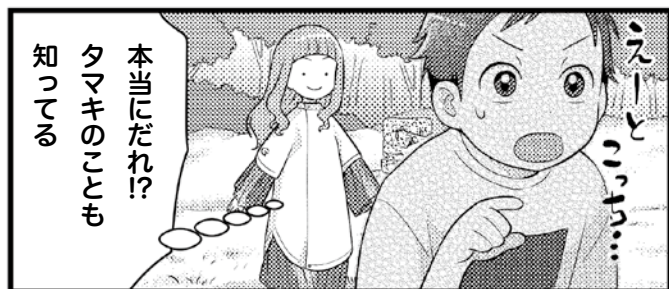
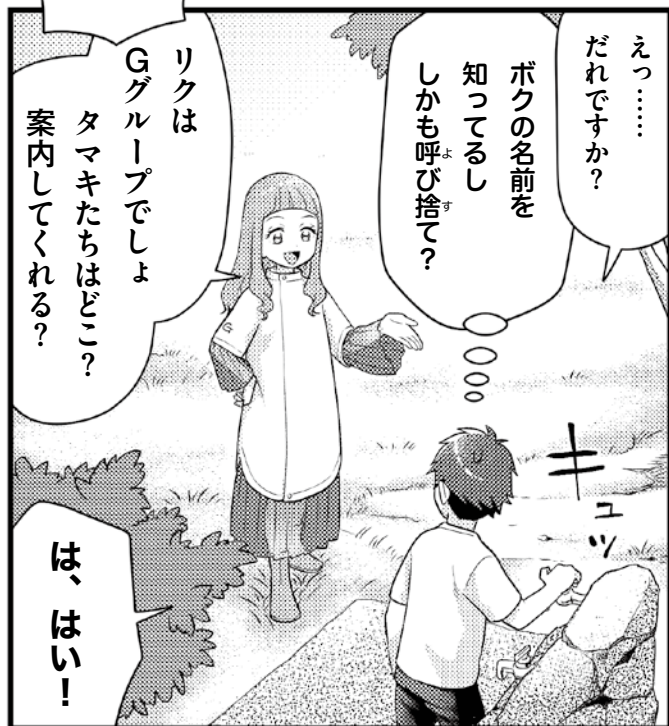
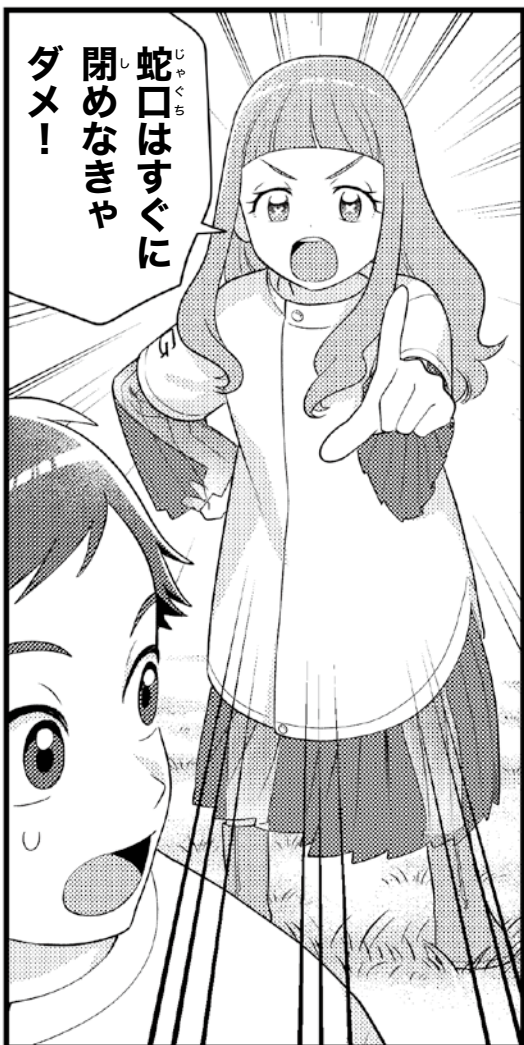
みなさん
5分後に
グループごとに
集まってください

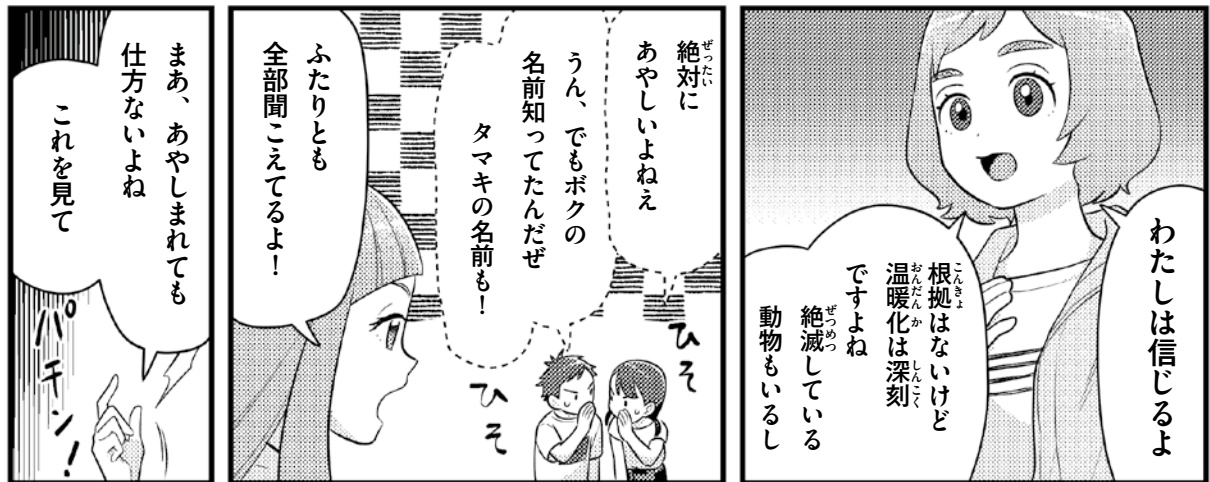
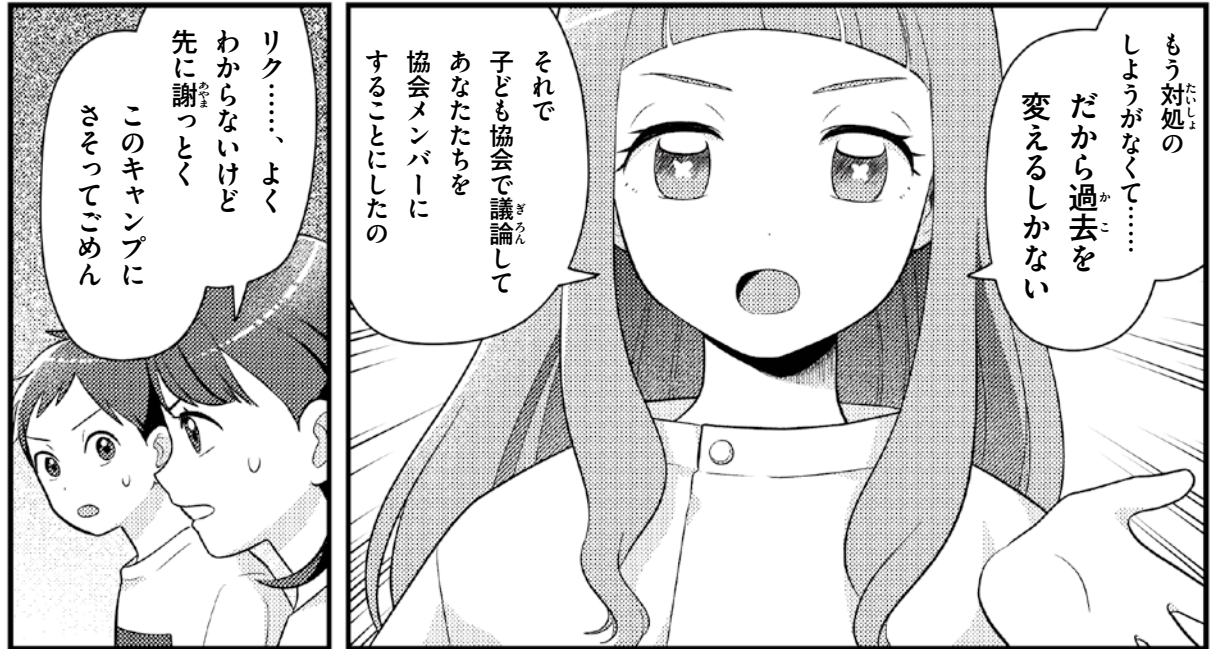
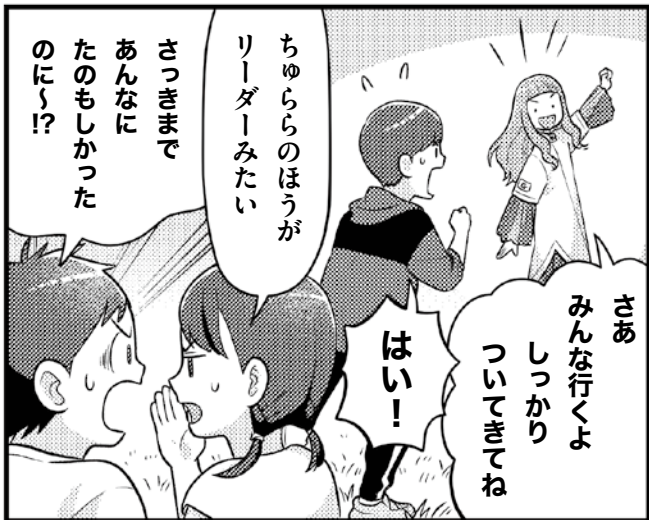


案内状に
水筒持参って
書いてあった
でしょ
湧き水を補給
できるみたいよ

〈持ち物〉
・水筒(湧)
・タオル
・ゴミ袋

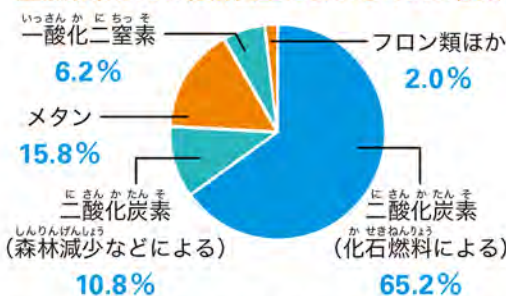






温室効果ガスの種類と排出量を見てみよう

温室効果ガスの総排出量に占めるガスの種類



出所：気候変動に関する政府間パネル（IPCC）「IPCC第5次評価報告書」（2014年）※2010年の二酸化炭素換算量での数値

もっとも多い温室効果ガス

▶▶▶ **二酸化炭素が76%**

二酸化炭素は、おもに化石燃料（石炭・石油など）や可燃ゴミの燃焼、電気やガソリンなどを利用するときに排出される。家畜のゲップなどに含まれるメタン、火災などで発生する一酸化二窒素、エアコンや冷蔵庫の使用によるフロン類などもある。



プラスチック製品の使用をひかえよう

日本で1年間に使用されるレジ袋

▶▶▶ **約305億枚（1人約300枚）**

プラスチック製品は、生産やゴミ処理の過程で二酸化炭素を発生させる。買い物用のマイバッグやマイボトルを持参することで、ゴミとなるプラスチックを削減できる。

過剰包装された商品を選択しないことも大切だよ



地球温暖化で北極の氷がとけている

100年後の北極の平均気温

▶▶▶ **大陸部で4～7度上昇**

1992年以降、北極圏の海氷は3.8兆トン以上が失われたとされている。ホッキョクグマは、すみかを失うだけでなく、エサとなる獲物がとれず衰弱してしまう。

ホッキョクグマは約2万5,000頭*しか残っていないんだって！



*国際自然保護連合（IUCN）種保存委員会ホッキョクグマ専門家グループ（SSC Polar Bear Specialist Group）の報告による推定数（2014年時点）。

【関連する目標】



ストップ！地球温暖化

どうして地球温暖化は起きているのだろう。
日常生活の中から、その原因を探ってみよう。

「地球温暖化」という言葉をよく聞きますが、実感を持っていない人が多いのではないのでしょうか。しかし実際、地球の気温は毎年上昇し、すでに異常気象や砂漠化といった問題に直面しています。

地球単位で年平均気温が上昇しており、東京に限って言えば、1900年から約4度も上昇しています。（36ページ参照）

もし、このままにも対策をしなければ、2100年には地球の平均気温は、今よりも、さらに1・4～5・8度も上がる

ことが予想されています。

気温の上昇は、二酸化炭素やメタン、一酸化二窒素、フロン類などの「温室効果ガス」の増加が原因です。これらの量は1990年と比較して50%も増え、長年にわたり増加し続けているのです。

温室効果ガス全体の排出量のうち約65%は、石油や石炭などの化石燃料に

日常生活で出続ける
温室効果ガスを減らす



よって発生する二酸化炭素が占めています。家庭や企業での冷蔵庫、照明、テレビ、エアコンといった家電機器の使用や、ペットボトルをはじめとするプラスチックゴミの焼却によって排出されています。

温室効果ガスの排出を減らして、地球温暖化を防止するためには、一人ひとりの心がけが大事です。家電機器やプラスチック製品のムダな使用をひかえることから始めてみましょう。

【その他の関連目標】 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 12 つくる責任 13 気候変動に具体的な対策を